

「医療的ケア・障がいのある子どもと家族のクリスマス会」の参加者。23日、南風原町の県立南部医療センター・こども医療センター



病院でクリスマス会

障がいのある子ら笑顔

南部医療センター



障がいのある子どもやその家族に、クリスマスを楽しんでもらおうと、沖縄県の医療的ケアが必要な子どもの親の会「らいおんはあと」(湯地三代子代表)と、県内でバリアフリーの旅行支援をしている「Kururu」(鈴木恵代表)は共催で23日、「医療的ケア・障がいのある子どもと家族のクリスマス会」を南風原町の県立南部医療センター・こども医療センターで開いた。

13家族が参加し、ケーキを食べたりゲームをしたりとにぎやかに過ごした。

クリスマス会は、同医療センターの協力を得て初めて開催。らいおんはあとの湯地代表は「重度障がいの子を持つ親はなかなか外出できない。病院がパーティー会場なら安心して参加してもらえる」と話した。

子ども2人と参加した新里美樹さん(27)は「那覇市は「病院から参加しやすい。子どもたちもすぐくクリスマス会を楽しみにしていた。毎年、会があればうれしい」と話した。

障がいのある子どもやその家族に、クリスマスを楽しんでもらおうと、沖縄県の医療的ケアが必要な子どもの親の会「らいおんはあと」(湯地三代子代表)と、県内でバリアフリーの旅行支援をしている「Kururu」(鈴木恵代表)は共催で23日、「医療的ケア・障がいのある子どもと家族のクリスマス会」を南風原町の県立南部医療センター・こども医療センターで開いた。